

ROTOBO

Connecting Markets

ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2023年(令和5年)6月25日号 No.1928

目次

■ 2022年のEUとロシアの貿易の総括と展望	齋藤 大輔 1
■ 『ロシアNIS調査月報』2023年7月号のご案内	12
■ トピックス	13
カナダ、ロシアに追加制裁	13
カナダ、貨物機を押収、ロシア反発	13
復興庁、ウクライナ復興協力で覚書締結	13

2022年のEUとロシアの貿易の総括と展望

(一社)ロシアNIS貿易会 ロシアNIS経済研究所
部長 齋藤 大輔

はじめに

ウクライナに侵攻を続けるロシアとの対立が深まる中、EUとロシアの経済関係が急速に縮小している。欧州企業のロシアからの撤退も進む。昨年の貿易額は資源価格が上昇したことから、前年並みを維持した。2022年のEUとロシアの貿易を振り返るとともに、今後を展望してみたい。

1. 貿易赤字が過去最大に

昨年1年間のロシアとEUの貿易額は前年並みを維持した。両者は、昨年2月のロシアによるウクライナ侵攻を機に、激しく対立しているが、経済が密接に結び付いている実態が改めて浮き彫りになった。

EuroStatが発表した貿易統計によると、昨年1年間のロシアとEUの貿易額は2,586億ユーロとなった。これは、2021年を2.3%上回り過去7年間で最高を更新した。EUからロシアへの輸出は自動車や機械などが大きく落ち込み、全体では前年と比べ38.1%減り552億ユーロに、ロシアからEUへの輸入は、国際資源価格の上昇で、原油やガスなどのエネルギーが増え前年を24.3%上回り2,034億ユーロだった。EUの貿易赤字額は1,483億ユーロで、前年の約2倍となり過去最大を更新した。制裁で機械やハイテク製品のロシア向けの輸出が減ったこと、資源価格の上昇や構造的なルール高(ユーロ安)の影響で原油やガスなどの資源の輸入額が押し上げられたことが主な要因である。

EUは日本と同様、海外から必要な燃料資源・原料を輸入し、機械や電気製品などの製品を作っ